

## 災害への備え

台風や地震など、災害はいつ起こるかわかりません。  
がんの治療期間中に被災して避難所に避難することを考えて、  
あらかじめ備えておきましょう。



### 日ごろからできること

#### ● 治療についての情報を持つておく

災害時には、普段あなたがかかっている医療機関で治療を受けられるかわかりません。病名や受けている治療についての情報を、手帳などに記録しておきましょう。

**POINT! /**

#### 記録しておくこと(例)

- 病名
- 飲んでる薬
- アレルギーのある薬
- 抗がん剤の名前
- 前回の治療日
- 血液検査の結果

#### ● 災害時の治療について医師と相談しておく

1～2週間程度遅れてよい治療なのか、日時をしっかり守らないといけない治療なのか、確認しておきましょう。

発熱時にどのように対応したらいいのかも相談しておきましょう。



## 災害発生時の対応

- お薬手帳・数日分の薬・持っている方は治療日誌を持って避難する

- 避難所の保健師等の医療関係者に、がんであることを伝える

- 治療を受けられる施設に関する情報を得る

大規模災害時は、病院でがんの治療ができなくなる場合もあります。  
普段受診している病院に連絡が取れないときは、地域のがん診療連携拠点病院のがん相談支援センターにご相談ください。



- 感染対策を心掛ける

がんの治療中は、感染への抵抗力が低下しているため、避難所生活においては、いつも以上に体調管理と感染対策が必要です。がれき除去、ヘドロ除去、家屋の清掃などは感染症にかかる可能性があります。体調を整えることを優先してください。



- 国立がん研究センター  
がん患者さんのための  
災害への備えと対応に関する情報



- がん情報サービス  
大規模災害に対する備え

